

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランスリバティ 豊中教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 11日		2026年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 11日		2026年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご利用者だけでなく、家族支援を丁寧に行っている。	・教室での活動報告を連絡帳で丁寧に言い、気になることに関しては、送迎時に口頭でお伝えしたり、電話やLINEなどで保護者と情報共有後、相談支援にあたることで、家族との信頼関係構築に努めている。	・数年後の出口を意識した療育の積み重ねを行い、必要な機関への接続や、情報提供を行うことをより一層意識し、家族と共に利用者の将来を考えることで、家族支援を深める。
2	・保育士、教諭免許などの資格を取得している職員が多い。教育現場で経験を積んだ職員や、子育てを経験した職員も多く、子育てに悩む保護者からの相談や悩みを聞き取り、解決に向けて対応できる。	・保育士や児童指導員を中心に身体づくりのためのプログラム提供を行っている。 ・元教員や学校で介助員の経験が長い児童指導員が、学習支援をきめ細やかに行っている。 ・関係機関連携を積極的に行い、学校との連携を丁寧に進め、相談しながら、共通の目標設定をすることによって、利用者の課題解決や、目標達成に繋げている。	・専門的な知識を取り入れられるような研修に参加し、積極的に新しいことに挑戦する職員を支える仕組みづくりを行うことで、事業所としての支援の厚みを増すことにつなげる。
3	・職員一人ひとりが見通しをもって支援に当たっており、連携が取れている。チームワークがあり、職場が明るい。	・全職員が、専門領域の強みを活かせるよう、互いに積極的に意見交換できる会議の場を毎日設定している。 ・職員が率先して明るくあいさつし、積極的な姿勢を見せることで、利用者をポジティブな気持ちに引き寄せている。 ・事務的なことに関して、全員が仕事内容を理解し、誰でも同じ作業ができるよう、仕事を回している。	・ステップアップを目指したい職員を応援する仕組みづくりを整えていっている。 ・助言だけでなく、模倣から始め、実践できる環境設定を行うことで、積極的にトライ&エラーに挑戦していくことを可能とする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流会やきょうだい向けのイベント、その他地域で他のこどもと活動する等の機会が提供できていない ・ペアレントトレーニングの提供がほとんどできていない。	・親子で参加できるイベントを企画したが、人員配置に余裕がない時期があったため、今年度は提供が難しかった。 ・ペアレントトレーニング等の、相談支援が行える職員が少ない。	・準備をしっかり行い、様々な「想定」を設定することで、急な対応が必要となる場合でも「想定内」に留めていけると考える。 ・職員のスキルアップを積極的に行うことで、「できること」を増やし、自信をもって相談支援に当たれる環境づくりをしていく。
2	個別対応ができる個室がない。	児童訓練室と事務室の2部屋あるが、児童訓練室はたくさんの児童が自由に過ごす場所であり、事務室は職員が業務を行う場所として使用している。子どもが一人で過ごしたい時や、個別に支援が必要な場合(クールダウンなども含め)使えるスペースがない。	・利用者の数や、活動内容に応じてレイアウトを臨機応変に考え、変更していくことで、デッドスペースを減らし、活動の幅を広げることにつなげる。 ・パーティションで部屋を分けて工夫しているが、倒れてしまうこともあるので、注意が必要である。
3	・取り組み内容の発信力が弱い。	・ホームページの更新体制が整っていない。 ・非常災害時の訓練が、不定期開催のため、実施の実態が届ききっていない。	・取り組み内容の発信に関しては、取り組みやすい方法を職員で確認し、発信力を高める取り組みを行い、届く情報を増やしていく。 ・避難訓練等の非常災害時の取り組みに関しては、定期的な開催を定着させ、全ての利用者が訓練に参加する機会の提供を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 エントランスリパティ 豊中教室

公表日 2026年 4月 11日

利用児童数

37名

回収数

26名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	4	0	1		・限られたスペースの中で、工夫して支援していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	0	2	・人の出入りがよくあるから。 ・退職や異動があると思うので正確な人数は分かっていません。	・適正な配置をし、支援を行っています。また、場合によっては、加配職員を配置し、より手厚い支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	1		・引き続き、バリアフリー化や、構造化された空間づくりに努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2	0	0		・引き続き、活動に合わせた空間づくりに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1	0	0	・担当者がすぐ変わる印象。 ・今までは言語を取り入れて頂いたことで発語が出た矢先にこの支援がなくなることが残念でした。	・法人内の専門職の保有資格を鑑みて、バランスの取れた配置を進めているところです。ご意見も参考に適切な療育につながるよう今後も努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0	・未回答1名	・今後もホームページやSNS等を通して、内容を周知していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1	0	0	・事業所内で報連相が上手くいっておらず、面談者が急遽変更になり困惑したことがあった	・報連相をしつかり行っており、保護者様に安心していただけるよう努めて参ります。 ・引き続き、子ども理解に努め、情報共有を行いながら支援計画の作成を行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	1		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	2		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	2	・いつもいろいろなイベントの企画ありがとうございます。	・今後も適切な支援を続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	4	7		・今後、他教室との交流機会だけでなく、地域の行事等に参加し、交流の機会を検討していきます。
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	0		・引き続き、丁寧に説明していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	1		・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	4	5		・今年度は一回ペアレントトレーニングを行いました。 ・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの複数開催を検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	0	・未回答1名	・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	1		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	1		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	6	4	8		・今年度は親子活動を長期休みに開催いたしました。 ・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの複数開催を検討していきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	1	・未回答1名	・コミュニケーションを取りやすい環境整備を引き続き行っていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	1	・未回答1名	・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	0	4	・未回答1名	・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	1	・未回答1名	・今後も慎重に取り扱っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	4	・未回答1名	・訓練等の実施に関して、周知してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	6	・未回答1名	・火災、地震、不審者侵入に関する避難訓練を今年度は行いました。 ・訓練等の実施に関して、周知してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	3	・未回答2名	・訓練等の実施に関して、周知してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	0	2	・未回答1名 ・今のところ連絡がないのは事故等が発生していないと認識しています。	・速やかに連絡できるよう、普段から職員間で報連相を行うと共に、フローチャートに基づいた連絡体系を確認して取り組んでまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1	0	0	・未回答1名	・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後ご利用者に寄り添った支援内容を提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	0	1	0	・未回答1名	・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後ご利用者に寄り添った支援内容を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	1	・未回答1名	・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後ご利用者に寄り添った支援内容を提供していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		エントランスリパティ豊中教室		公表日		2026年 4月 11日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	1	・外出等の活動や人数に応じて、環境設定や職員の配置を調整している	・送迎の際、職員数に余裕があれば、より安全に配慮した形で送迎が行える	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	1		・玄関に段差があるので、バリアフリー化が望ましい	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0		・教室のにおいが少し気になる場面があるので、消臭対策をしている	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	3	・パーテーションを使用し、工夫をしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	1	・未回答2名 ・毎日振り返りを行い、参加できなかった職員についても書面で共有することで全職員が内容を把握できるよう工夫している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	・未回答2名 ・定期的にアンケートを取り、話し合いの場を設け、改善につなげている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	・未回答2名 ・朝礼や振り返りで意見交流の時間を設け、改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	1	・未回答2名	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	・未回答2名 ・新入社員研修を実施している外部研修に参加し、職員の専門性向上に努めている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8	0	・ホームページに掲載している ・活動内容を保護者にお伝えしている	・活動内容を伝えているが、個人の様子や出来事を、より具体的に分かりやすく伝えられるよう工夫していく必要がある
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8	0	・保護者との面談を踏まえて作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8	0	・意見交流の時間を設けている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8	0	・定期的にカンファレンスを行い、一人ひとりの状況や支援方法について共有・検討を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	1	・未回答3名	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	1	・未回答1名 ・ガイドラインに基づき、支援内容の作成をしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		8	0	・朝礼時に実施している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		7	0	・未回答1名 ・週ごとに活動プログラムを変更し、利用者に合わせて見直しを行っている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・未回答1名	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・その日の送迎確認や活動プログラムについて話し合いを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・振り返りを必ず実施し、参加できなかった職員についても書面で共有することで全職員が内容を把握できるよう工夫している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・システムで記録管理を行い、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・日々の振り返りやカンファレンス会議によって、状況を共有し、より良い支援につながるようになっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	・未回答4名 ・「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・未回答4名 ・子どもが自己選択できる場面設定を行っている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・未回答4名 ・子どものことをよく理解した者が会議等に参画し、情報共有をするように努めている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・未回答4名 ・関係機関との連携を実施し、情報共有を行っている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・未回答1名 ・適宜、情報共有や連絡調整を行っている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・未回答4名 ・適宜、情報共有や連絡調整を行っている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	0	・未回答7名	・卒業児が現在一名しかいない。今後、卒業して障害福祉サービスへ移行する子どもがいる場合には、適切に対応していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0	・未回答5名 ・適宜、関係機関との連絡を取っている	・職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	・未回答5名 ・地域の公園等で遊ぶ機会を設けている	・地域の公園等で遊ぶ機会はあるが、他の子どもとの交流については今後の検討課題である
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	2	・未回答6名 ・協議会等への参加はしている	・協議会等への参加はしているが、職員の認識として浸透していなかった。今後、報連相を含め、職員間で理解の一致を図るため周知を徹底していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・活動内容を保護者にお伝えしている	・活動内容を伝えているが、個人の様子や出来事を、より具体的に分かりやすく伝えられるよう工夫していく必要がある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・未回答3名 ・ペアレント・トレーニングを行った	・定期的にペアレント・トレーニングを開催することを今後、検討していきたい ・職員間での情報共有を適宜行っていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・未回答1名 ・契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者との面談を踏まえて、本人や保護者の願いを尊重した計画を立てている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・保護者との面談を踏まえて、本人や保護者の願いを尊重した計画を立てている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・定期的に、保護者からの相談に助言を行い、必要に応じて面談の場を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答2名 ・イベントを通して交流会の場を設けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を企画したが参加率が低いので、今後、親子で参加できるプログラムを中心に開催したい ・開催頻度は少ないと感じる
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談等があった場合、迅速に対応し、職員間の報連相を徹底している 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答2名 ・イベントの案内等で活用している 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの書庫で厳重に保管している 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答1名 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答2名 ・地域の施設を借りて療育を含めた活動を行い、事業所の活動を知ってもらう機会としている ・地域でボランティア活動をされている団体等に来てい 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の共有や周知を徹底していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答1名 ・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報の更新を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練実施に関して、保護者への周知が徹底できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答1名 ・策定し、ファイルにて保管している ・避難訓練を定期的実施している 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や定期的にあセスメントを行い、確認している 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や定期的にあセスメントを行い、確認した上で、情報が更新された際には、職員間で情報共有を徹底している 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答2名 ・定期的に点検や確認を行いながら進めている ・定期的に研修や訓練を行っている 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答2名 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を行い、再発防止に向けて振り返り、会議を行っている 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を行っている 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している 		